

2016 年 7 月 12 日

重点大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて

日本学術会議科学者委員会
学術の大型研究計画検討分科会

1. 重点大型研究計画審査小委員会の構成

重点大型研究計画審査小委員会（以下、審査小委員会）^(注)は、学術の大型研究計画検討分科会（以下、本分科会）委員、および各分野（部）別学術大型研究計画評価小分科会（以下評価小分科会）の委員長もしくはその代理（以下、評価小分科会委員長）で構成される。ただし、提案者は審査小委員会の構成員（以下、審査小委員会委員）になることはできない。

(注) 審査小委員会は通称であり、学術の大型研究計画検討分科会において評価小分科会委員長を参考人として招聘することにより会議が成立するものとする。

2. 重点大型研究計画の制定

重点大型研究計画は、学術大型研究計画の中から、25-30 件程度を、諸観点から速やかに推進すべき計画として選択する。

3. 重点大型研究計画の審査・評価のプロセス

- ① 本分科会は、学術大型研究計画に関して、別表 1 にもとづいて分野（部）毎にヒアリングの対象とする提案を定める。ただし、本分科会が必要と認めれば、上記に加えて若干数の提案をヒアリングの対象に追加することができる。
- ② ヒアリングは、2016 年 9 月 17 日（土）から 19 日（月）の 3 日間実施する。
- ③ 審査小委員会委員は、学術大型研究計画審査・評価結果及びヒアリングに基づき、自らの見識の下で厳正に提案を評価する。ただし、評価の対象はヒアリングを行った提案のみとする。また、利害関係者の排除の観点から、自らの活動に関連する提案の評価には関与しないこととする。
- ④ 本分科会は、審査小委員会委員の評価点数の平均値に従って順位付けを行い、それに基づき審議し、重点大型研究計画を 25-30 件程度策定する。必要であれば、再度ヒアリングを行うことができる。
- ⑤ 本分科会は、マスタープラン 2017 の策定が日本学術会議の意思の表出であるという観点に立ち、各部から一定数程度以上の計画が重点大型研究計画に含まれるように配慮する。ただし、この場合の「一定数程度」は 2 ないし 3 と理解する。
- ⑥ 重点大型研究計画の評価結果の公表形式は今後議論することとする。

4. 重点大型研究計画の評価法について

(ア) 審査小委員会委員は、自らが直接関係する分野以外かつヒアリングを自ら行った全ての提案（以下、全評価対象提案）について、以下の7項目に関して3, 2, 1の3段階で絶対評価する。

- i. 学術的価値
- ii. 実施主体の明確性（責任を果たせる体制になっているか）
- iii. 計画の妥当性、成熟度、共同利用体制の充実度
- iv. 社会的価値（国民の理解、知的価値、経済的・産業的価値）
- v. 大型研究計画としての適否
- vi. 国家としての戦略性、緊急性
- vii. 予算化のための計画の準備状況

特に優れている場合を「3」として、優れている場合には「2」、優れていない、もしくは問題がある場合には「1」とする。

(イ) 審査小委員会委員は、全評価対象提案について、5を最高評価点にして5段階で総合評価を行う。ただし、評価は相対評価であり、評価点の分布は下記のとおりとする。詳細は別表2の通り。

5	全評価対象提案の約 20%
4	全評価対象提案の約 20%
3	全評価対象提案の約 20%
2	全評価対象提案の約 20%
1	全評価対象提案の約 20%

5. 今後のスケジュールについて

2016年6月頃	学術大型研究計画の策定
2016年7月頃	連絡担当者に採否通知
2016年7月頃	ヒアリング対象提案への通知
2016年9月17-19日	ヒアリング
2016年10月頃	重点大型研究計画の策定
2016年11月頃	意思の表出に向けた提言（案）の作成
2016年12月頃	科学者委員会審議・承認
2017年1月頃	幹事会審議・承認
2017年1月頃	マスタープラン2017を公表
2017年4月	総会へ報告

分野		応募件数	ヒアリング対象 件数の目安
第一部		10	4
第二部	基礎生物学	2	1
	統合生物学	2	1
	農学	11	4
	食料科学	8	3
	基礎医学	3	1
	臨床医学	4	2
	健康・生活科学	1	1
	歯学	1	1
	薬学	3	1
	合計		35
第三部	環境学	4	2
	数理科学	1	1
	物理学	24	7
	地球惑星科学	8	3
	情報学	16	5
	化学	4	2
	総合工学	12	4
	機械工学	4	2
	電気電子工学	5	2
	土木工学・建築学	2	1
	材料工学	4	2
	合計		84
第一部～第三部の合計		129	50
融合領域	生命科学融合領域	3	1
	理学・工学融合領域	9	4
	人文・社会科学、生命科学、理学・工学のうち2分野以上に関わる融合領域	25	7
	合計	37	12
総件数		166	62

別表 1 各分野（部）におけるヒアリング対象件数の目安

評価件数※	5点	4点	3点	2点	1点
1~13件 略					
14	3	3	3	3	2
15	3	3	3	3	3
16	3	3	4	3	3
17	3	4	4	3	3
18	3	4	4	4	3
19	4	4	4	4	3
20	4	4	4	4	4
21	4	4	5	4	4
22	4	5	5	4	4
23	4	5	5	5	4
24	5	5	5	5	4
25	5	5	5	5	5
26	5	5	6	5	5
27	5	6	6	5	5
28	5	6	6	6	5
29	6	6	6	6	5
30	6	6	6	6	6
31	6	6	7	6	6
32	6	7	7	6	6
33	6	7	7	7	6
34	7	7	7	7	6
35	7	7	7	7	7
36	7	7	8	7	7
37	7	8	8	7	7
38	7	8	8	8	7
39	8	8	8	8	7

評価件数※	5点	4点	3点	2点	1点
40	8	8	8	8	8
41	8	8	9	8	8
42	8	9	9	8	8
43	8	9	9	9	8
44	9	9	9	9	8
45	9	9	9	9	9
46	9	9	10	9	9
47	9	10	10	9	9
48	9	10	10	10	9
49	10	10	10	10	9
50	10	10	10	10	10
51	10	10	11	10	10
52	10	11	11	10	10
53	10	11	11	11	10
54	11	11	11	11	10
55	11	11	11	11	11
56	11	11	12	11	11
57	11	12	12	11	11
58	11	12	12	12	11
59	12	12	12	12	11
60	12	12	12	12	12
61	12	12	13	12	12
62	12	13	13	12	12
63	12	13	13	13	12
64	13	13	13	13	12
65	13	13	13	13	13

※利害関係者となる計画、また、欠席等によりヒアリングに参加できなかった計画を除いた件数により、点数分布をご確認ください。

別表2 総合評価の評価点分布